

## 洋上風力発電に関する「千葉県銚子市沖における協議会」構成員による公募前説明会 結果概要

### 1 日時

---

令和2年10月22日（木） 13時30分から14時30分

### 2 場所

---

犬吠埼ホテル「彩雲」

### 3 構成員参加者

---

経済産業省 武藤課長補佐 国土交通省 大岡室長  
農林水産省 小林計画官 千葉県商工労働部産業振興課 高橋課長  
千葉県県土整備部港湾課 安田副課長 銚子市 越川市長 旭市 小倉課長  
銚子市漁業協同組合 坂本代表理事組合長  
海匝漁業協同組合 土屋代表理事組合長  
千葉県漁業協同組合連合会 高梨常務理事

### 4 議題

---

- (1) 「協議会意見とりまとめ」等について
- (2) 名洗港の活用について
- (3) 地元市の地域振興策について
- (4) 漁業関係者からの期待等について

### 5 配布資料

---

- [資料 1-1] 千葉県銚子市沖における協議会意見とりまとめ  
[資料 1-2] 「千葉県銚子市沖における協議会意見とりまとめ」に係る基金への出捐等について  
[資料 1-3] 銚子市沖における海底ケーブルの敷設について  
[資料 2] 名洗港の活用について  
[資料 3-1] 銚子市沖洋上風力発電が創る再エネ共生都市（銚子市）  
[資料 3-1 別紙] 銚子市沖洋上風力発電事業に関するメンテナンス会社について  
[資料 3-2] 洋上風力発電事業における地域振興策について（旭市）

### 6 議事概要

---

- (1) 「協議会意見とりまとめ」等について
  - 構成員（千葉県）：[資料 1-1] に沿って説明
    - ・ 「協議会意見とりまとめ」に記載した留意事項について、公募から発電事業終了までの全過程において留意することを選定事業者に求める。本協議会は「選定事業者

が本協議会意見を尊重して事業を行う場合において、当該海域の利用について了承する」としている。

● **構成員（千葉県）：[資料 1-2] に沿って、地元を代表して県から説明**

- ・ 前例のない大型洋上風力発電事業と日本有数の漁業との協調・共生・振興策であること等を踏まえ、以下のとおり出捐目的・出捐額等の考え方を整理した。
- ・ 漁場実態調査を目的に銚子市の基金に 3 億円、漁業振興などを目的に、銚子市・旭市両市が設置する基金に計 100 億円、千葉県漁業振興基金に 15 億円、計 118 億円を出捐することを要望。

● **構成員（千葉県）：[資料 1-3] に沿って説明**

- ・ 促進区域外の一般海域へ海底ケーブルを敷設する場合、銚子市沖における協議会において、ケーブルの敷設ルートについての手続きが必要になる。旭市沖の海域で海底ケーブルを敷設する場合、地元漁協から、可能性検討エリアで協議に応じる旨の了解は得ているが、敷設を約束するものではない。

(2) **名洗港の活用について**

● **構成員（千葉県）：[資料 2] に沿って説明**

- ・ 公募占用計画の提出に先立ち、必要となる港湾施設のスペック及び利用方法などについては、十分な時間的余裕をもって港湾管理者と協議すること。
- ・ 発電事業者の選定後に必要に応じて港湾計画の変更などの手続きを行う場合がある。
- ・ 港湾施設の利用にあたっては、整備に係る負担とは別に、使用料及び手数料条例に基づき使用料や占用料が必要となる。

(3) **地元市の地域振興策について**

● **構成員 [銚子市]：[資料 3-1] に沿って説明。**

- ・ 銚子市は、銚子市沖での洋上風力発電事業をオール銚子の体制で推進するとともに、このチャンスを銚子創生へ繋げていくため、発電事業者と、再生可能エネルギーが地域産業と共生する自律的で持続可能な未来を創出していきたい。
- ・ 具体的には、漁業振興、産業振興、地域振興、人材育成、観光振興と言った観点について、銚子市が行う取組を踏まえた提案を期待する。
- ・ 特に、銚子市漁業協同組合、銚子商工会議所、銚子市の出資により設立した「銚子協同事業オフショアウィンドサービス株式会社」について、当該会社の設立の趣旨を理解しながら、会社との連携についても検討をお願いしたい。

● **構成員 [旭市]：[資料 3-2] に沿って説明**

- ・ 洋上風力発電事業者には、洋上風力を通じて旭市の地域振興に協力してくれるようお願いしたい。
- ・ 具体的には、農水産業、観光の振興や雇用の確保、自然環境の保全といった観点について、旭市が行う取組みを踏まえた提案を事業者をお願いしたい。

#### (4) 漁業関係者からの期待等について

- 構成員 [銚子市漁業協同組合] : 以下の内容について説明。

- ・ 銚子が洋上風力発電を推進する理由として、①東日本大震災による福島原子力発電所の事故で、千葉県漁業者も大変な被害を被ったということ、②それによる原子力発電から自然エネルギーへの転換、推進すべきという国の方針に対して一定の理解をしていることが挙げられる。
- ・ 銚子が開発と漁業の共存共栄のモデル的な地域になれば、との思いでこの事業と一緒にやっていきたいと考えている。漁業振興を図るための基金への出捐金は漁業に対する補償ではないと思っている。
- ・ 発電事業者が決まってから、発電前までの間に漁業が洋上風力と共生していくための、様々な施策、調査を行い、当該調査に基づいて新しい共生策を作り、その共生策に基づいて様々なことに出捐金を使っていこうと考えている。
- ・ 「銚子協同事業オフショアウィンドサービス株式会社」に関しては、この地域に対して、どれだけの仕事を生み出せるのか、漁業者に対してどのような形で一緒に仕事をやっていくことができるのか、という点を踏まえた上で、計画を策定してもらいたい。
- ・ 我々の漁協系統団体では金融や保険を扱っている。事業実施に当たっては、このような系統団体があることも御案内したい。
- ・ 銚子市沖で長期間にわたり事業を行っていくため、漁業者と事業者が互いに信頼しあい、良好な関係を続けていくことで、将来において我々の子供たち、孫たちが銚子で漁業を続けていくことができ、事業者にとっても、本事業終了後にまた新しい事業を始められるよう期待している。

- 構成員 [海匠漁業協同組合] : 以下の内容について説明。

- ・ 近年漁獲量が減少しているシラウオについては基金を活用し、対策していきたいと考えている。
- ・ 協議会意見とりまとめに記載されている留意事項について、海匠漁協として以下の2点についてお願いしたい。①本促進区域内における漁船の航行の安全を確保するため、事業者には航路の決定に当たっては十分に配慮してほしい。②風車の設置場所の検討に当たっては、漁業の操業との関係を踏まえ関係漁業者と十分協議を重ねた上で決定して欲しい。
- ・ 地域、漁業者、事業者それぞれにとってメリットのある洋上風力発電事業が実現するよう、海匠漁協としても地域や事業者とも連携しながら共存共栄を図っていききたいと考えている。

#### <質疑応答>

- 上記(1)から(4)についての質疑応答を行ったところ、公募参加予定事業者からの質疑はなかった。